



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



顔の見える人から学びたい

自宅のカリンが実を付けました。

去年は、荒川だしの風を受けて、全て落果してしまいました。

2年ぶりの収穫です。今年も荒川だしの風で数個落果しましたが、いつもより大きい実が5個残っています。今までは玄関に置いて、香りを楽しんでいましたが、今年はカリン酒にでも挑戦してみようと思います。カリン酒の作り方については、人に聞く、本で調べる…などいろいろあるでしょうが、情報化社会の現代では、さっとスマホで検索というところでしょうか。



便利な世の中になったものです。手軽に疑問を解決できるようになってきていますが、「その情報は正しいのか」を常に意識しなくてははいけません。顔の见えない相手からの情報ですから。子どもたちが誤った情報を信じ込んでしまわぬよう、学校も家庭も注視しなくてはなりません。報道では、オンライン詐欺や匿名の誹謗中傷、偽の悪意ある情報提供など、心を痛める情報が流れています。次代の子どもたちの未来を照らし導くはずの大人が何をしているのだと悲しさを越え憤りを感じます。

10年ほど前、私は当時の西神納小学校で勤務し、地域の方から干し柿作りや梅干し作りなどいろいろと教えていただきました。作り方のコツやポイントを丁寧に教えていただき、その時の温かな笑顔を忘れることはありません。子どもたちととても充実した時間を過ごしたことを覚えています。

今こそ、作り方を知っている人から直接教えてもらいたいと強く思うようになりました。顔の見える相手です。週末、梅酒を作る母親を訪ねて実家へ行こうと思っています。

ちょっとだけ、カナヘビブーム 4

校長室の窓は南側に面していて、心地よい日光が差し込みます。その窓際にカナヘビ飼育ケースを置いていますので、カナヘビたちは気持ちよさそうに日光浴をします。

朝晩、外気温が7℃くらいになり、心配になりますが、ペット用パネルヒーターと電気マットを敷いており、出勤時の室温は15℃くらいになっています。日光が差し込むと徐々に気温が25℃近くまで上がります。曇天時は20℃くらいです。

3年教室にいたカナヘビをより暖かい所へということで、校長室へ連れてきました。

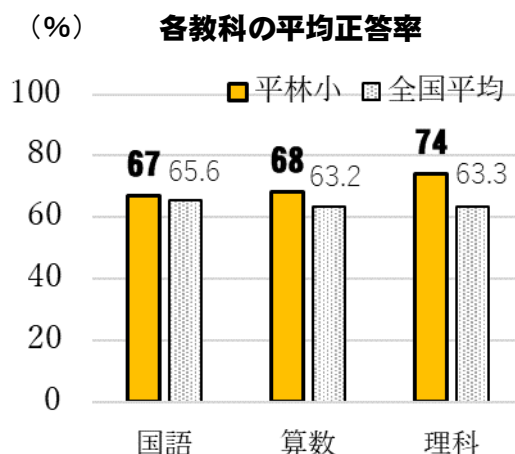
「校長先生、私のカナヘビ、寒そうなんです。どうしたらいいかなあ。」と、2年生の女の子が相談に来ました。「では、暖かい校長室で飼ってみますか。」と提案し、校長室のカナヘビが増えました。「ぼくも。」と4年生の男子も続きました。校長室は暖かいというよさだけでなく、休み時間にカナヘビに触れ合えるというよさもあります。休み時間の校長室は、カナヘビとふれ合う子どもでにぎやかです。(校長 南波 裕)

令和 4 年度 全国学力・学習状況調査の結果から

小学校6年生を対象にした全国学力・学習状況調査が4月に行われました。これは、子どもたちの学力の定着状況や学習状況を捉え、自校の授業や学習指導の改善を図るために毎年実施されているものです。今年度は、国語、算数、理科などの調査を行いました。その結果についてお知らせします。



各教科の平均正答率は、右のグラフの通りです。
当校の6年生は、すべての教科において全国平均を上回ることができました。



〈各教科の正答・誤答の傾向〉

国語では、思考力や表現力を問う記述式の問題がよくできていました。昨年度はこうした問題において条件文の見落としや条件文を十分満たしていない解答が目立ちましたが、今年度は条件文に合った解答がしっかり書けていました。これは、「普段の授業からいくつかの条件（評価規準）を示してふり返りを書かせてきたこと」などの成果だと思われます。逆に、話し言葉と書き言葉の違いを問う問題や文脈から適切な表現を選ぶ問題の正答率が低かったようです。

算数でも、思考力や表現力を問う記述式の問題がよくできていました。これは、「普段の算数の授業において自分や他者の図・式・考えを説明したり活用したりする活動を継続的に行ってきたこと」などの成果だと思われます。ただ、データの活用をみる問題の正答率が若干低かったようです。

理科では、知識や技能を問う問題も、思考力や表現力を問う問題も大変よくできていました。しかし、児童質問紙において、「理科の授業で活用したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」や「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の問いに「当てはまる」と回答した児童の割合が全国平均に比べ著しく下回っていました。これは、身の回りの事象から子どもたちが学習問題を見い出したり、学んだことをもとに自分の生活や自然環境を見つめ直したりする学習活動が不足しているものと思われる。

〈今後の学習指導の重点〉

上述の傾向を踏まえ、日々の授業改善に努めていきます。また、以下の取組を実施・継続していきます。

① 1) 基礎学力の育成

基礎学力の向上のため、音読・視写、辞書引き、四則計算などに毎日10分間取り組みます。

② 2) 文章表現活動の充実

字数制限や評価規準の明示など書く内容に条件を付けて、授業のふり返りを行っていきます。

③ 3) プランニングタイム&家庭学習強調週間の実施

家庭学習を自分で計画させたり、「学年×10分+5分」を目標に家庭学習に取り組みせたりしていきます。